

# 結繋〜きずな〜

令和 6年 6月 21日発行  
府中町立府中緑ヶ丘中学校  
生徒支援部 ☆☆☆

## 6/4 (火) 第二回SSTを実施!!

府中緑ヶ丘中学校では、毎年年間7回の授業でSST（ソーシャル・スキル・トレーニング）を実施しています。第一回ではSSTとは何かをオリエンテーションで確認し、今回が本格的なSSTのスタートです。学年ごとにテーマと覚えてほしいスキルがあったと思います。確認してみましょう！

**正しい聞き方のポイントは、**  
**アカメのウサちゃん**

- ア あいづちを打つ
- カ 体を向ける
- ク 目を見る
- コ の
- ク うなづく
- コ 最後まで話を聞く

ちゃん



**【1年生】**

**相手の気持ちを知る**  
ヒントは、シカのこま！

相手の気持ちを知りたい時は、  
小さく、顔の表情、声の大きさ、周りの様子  
に注意してみよう。

しぐさ  
ハップポーズ  
ため息  
顔をかかえる

顔の表情  
笑顔  
泣き顔  
おこった顔

声の大きさ  
大きくて楽しそうな声  
小さくて悲しい声  
大ききなどなり声

周りの様子  
周り何してる様子？  
物がこわれている  
友だちが泣いている

**【2年生】**

**ノンバーバルコミュニケーション**

- 身振り
- 表情
- しぐさ
- 口調
- 声の大きさ



**【3年生】**

**上手に教えるポイント**

「タコの“わ”」

- ① タイミング
- ② ことば遣いの
- ③ わけ(理由)や効果の説明



各学年の先生方が教室と男子更衣室前に掲示物をつくってくださいます。これらのスキルも最初は「意識しないと使えない」スキルです。時間があるときには掲示物を見て、「ああそういえばこんなことしたな」と思い返してみてください。そして、日常生活の中で使ってみてください。今年度はあと5回SSTを計画しています。帰りのSHRで行うミニSSTと合わせて練習を積み重ねて「円滑なコミュニケーション」ができるように力を身につけていきましょう。



## 6/13 河野美代子先生による命の教育講演会

6月13日（木）に2年生を対象に命の教育講演会を行いました。講師の産婦人科医の河野美代子先生は、大学病院で務めた後、土谷病院で産婦人科を立ち上げるなど産婦人科医としてたくさんの命の現場に立ち会われました。その中で、**間違っただ情報**を鵜呑みにして苦しむ若者や正しい情報を「**知らなかった**」ことで取り返しのつかない状況に陥った人々を目の当たりにし、現在ではたくさんの講演活動も行っておられる方です。今回来られなかった保護者の方にも知っておいてほしいことをお伝えします。

### ◇家の中でもプライベートな空間をつくり親子がお互いに守ること！！◇

①保護者の皆様へ：子どもの部屋に入る前には必ずノックを！！

②生徒の皆さんへ：親の部屋には勝手に入らないこと！！

思春期真っただ中の中学生です。見なくていいものを見ることで関係が崩れてしまうこともあります。家でぜひ心がけてください。



#### 【生徒の感想】

○今日の講話でまず感じたことは、自分が今生きているのはとても恵まれているということです。この世には子どもが欲しくてもできない人、できたとしても育てられない人がいる中で、自分を産んでくれて育ててくれて、精一杯愛情を注いでくれた親に感謝の気持ちをもとうと思いました。また、家の中にもプライバシーはあるので親や兄弟にも配慮していきたいです。

○私は今日の話をお聴くまでは性について少し恥ずかしいという気持ちを持っていたけど、今日のお話を聞いて、性とは恥ずかしがることではないけど自分の意思・行動を大切にしなければならないのだということがわかりました。自分が子どもを欲しい相手が欲しいと思っていても、一方的な意見を押し付けるのではなく、自分の気持ち、職業、学業についてしっかり考えること。本当に出産してきた赤ちゃんを育てられる環境なのか、自分の周りには助けてくれる人がいるのかなど二人でしっかりと深く考えて決めないと取り返しのつかないことになってしまうし、その時の自分の適当な考え、行動によって、自身がつらく苦しい思いをしなくてはならないから本当に考えて決めることが大切だとわかりました。

○今日の講話で、命はどのように誕生したのかや命の尊さ、大切さ、生きることの素晴らしさについて学ぶことができました。また、エイプリルフールに妊娠した場合は予定日はクリスマスイブだということもわかりました。自分で予定日を計算できることや妊娠何か月かの数え方について知ることができ、初めて知ることばかりだったので正しい情報を身につけることができるととてもありがたいと思いました。ネットは誤った情報も溢れている中、今回河野先生に正しいことをたくさん教えていただくことができるととてもよかったし、今回学んだことを忘れずに大切にしていきたいと思いました。

河野先生は講演の中で「子どもは無知だからこそ大人が正しい知識を伝えていかなくてはいけない」といわれていました。子どもに関わる大人として責任を感じたと同時に、それでも「性」についてはどう伝えてよいかわからない悩む部分です。今回の講演のように専門の方から直接お話を聴くことができたのは、生徒にとっても大人にとっても貴重な時間となりました。講師はまだ未定ですが来年度も「命の教育講演会」を開催しますので、保護者の方もぜひ参加を検討してみてください。